

第一回春日大社奉納

日本古武道大会

場所 春日大社 着到殿
日時 令和5年7月9日(日) 12時半より

主催 日本古武道振興会
協力 春日大社

ご挨拶

日本古武道振興会

会長 加藤 紘



今般、創建以来約千二百五十年の歴史を持つ春日大社様とご縁を得まして、第一回春日大社奉納日本古武道大会が開催されることは、古武道の保存振興のため誠に喜ばしいかぎりであります。

日本の古武道は、長い歴史と伝統の中で育まれ、技を磨くと共に心を磨くという心身両面にわたる鍛錬の道として、現代まで継承されてきたわが国の貴重な民族文化であります。

今日まで伝えられてきた古武道は、流祖先師等古人が生と死を賭けた戦場で習得した実戦の武術であります。それが武士の誉れの信条にあります。仁、義、礼、智、信と一体となり静と動の様式美さえ醸成され、日本の誇るべき伝統文化財となったものであります。

ご観覧の皆様におかれましては、どうか古武道の心技一如の域に達した各流派の諸先生方の妙技を心ゆくまで味得していただければ幸甚と存じます。

春日大社奉納演武

参加流派 32 参加人数 134 名 場所 着到殿

前半 1～16 12:30～14:22

- 1 小笠原流弓馬術礼法 (小笠原清忠)
- 2 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏)
- 3 示現流兵法 (東郷 重賢)
- 4 神道無念流剣術 無想神傳流拔刀術 (小川 武)
- 5 直心影流薙刀術 (荻原 晴子)
- 6 神道夢想流杖術 (松井 健二)
- 7 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平)
- 8 澁川一流柔術 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生)
- 9 天道流薙刀術 (木村 恭子)
- 10 風傳流槍術 (今西 春禎)
- 11 神道夢想流杖術 (江角 和敏)
- 12 心形刀流武芸形 (小林 強)
- 13 伯耆流居合術 星野派 (有若 茂)
- 14 立身流 (加藤 紘)
- 15 関口新心流柔術 (関口 芳夫)
- 16 戸山流拔刀道 (中村 朋子)

後半 17～32 14:30～16:22

- 17 宝蔵院流高田派槍術 (駒喜多 学)
- 18 兵法タイ捨流 (上原エリ子)
- 19 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美 裕司)
- 20 神道夢想流杖術 (濱地 光男)
- 21 関口流拔刀術 (祖父江光紀)
- 22 鞍馬流剣術 (柴田 章雄)
- 23 天然理心流 (大塚 篤)
- 24 小野派一刀流剣術 神夢想林崎流居合術 (鈴木 ゆき子)
- 25 和道流柔術拳法・空手術 (大塚 博紀)
- 26 氣樂流柔術 (水科 壽美)
- 27 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞)
- 28 淺山一傳流兵法 (関 展秀)
- 29 荒木流軍用小具足 (千葉 明)
- 30 森重流砲術 (長塚 正晃)
- 31 小野派一刀流 (矢吹 裕二)
- 32 柳生新陰流兵法 (柳生 耕一)

令和 5 年 (2023) 7 月 9 日

春日大社 奉納演武順序

一、小笠原流弓馬術礼法（小笠原長清）

小笠原 清 忠（神奈川県）
佐保川 一 誠
鈴木 浩
塩谷 友浩
大倉 尚浩
寺尾 咲季

二、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵玄信）

宮田 和宏（福岡県）
吉村 壮平
長富 昭長
メル 昭長
河上 裕彦

三、示現流兵法（東郷肥前守重位）

東郷 重賢（鹿児島県）
白坂 耕一
有村 博康
徳永 重臣
下津 浩一
アレキサンダー・ブラッドショー

四、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

無想神傳流拔刀術（林崎甚助重信）

五、直心影流雜刀術（山田平左衛門藤原光徳）

六、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

七、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

小川武（東京都）

萩城永山掛柴
崎崎見谷川田
建優伶成勝
昭郎征子彦也

荻原晴子（兵庫県）

関福資横
根岡延山
惠輝妙公
兒美子仁子

（松井健二）（東京都）

天浅草竹
野野野内
宏勝祐正
宣正郎幸

石本一平（兵庫県）

石中徳
本岡
一恒秀
平夫一

八、澁川一流柔術（首藤藏之進滿時）

無雙神傳英信流拔刀兵法（林崎甚助重信）

九、天道流雜刀術（齋藤判官伝鬼房）

十、風傳流槍術（中山源兵衛吉成）

十一、神道夢想流杖術（夢想權之助勝吉）

森本邦生（広島県）
森元邦生
堂元慎介
松田淳至

木村恭子（東京都）
木村幸子
廣瀬幸子
玉置捷子
和田久代
近藤圭恵
木村有里

今西春禎（大阪府）
渡邊桂一
妻木亮

江角和敏（東京都）
江比奈角和敏
朝中辰樹
田中遼太郎
澤田雄也
鹿野幹貴

十二、心形刀流武芸形 (伊庭是水軒秀明)

十三、伯耆流居合術 星野派 (片山伯耆守藤原久安)

十四、立身流 (立身三京)

十五、関口新心流柔術 (関口弥六右衛門氏心)

小林 強 (三重県)

小加藤 尚
伊角 卓
伊東 大
野仲 治
大角 哉

有若 茂 (東京都)

鎌石 翼
鎌石 紗
矢

加藤 紘 (千葉県)

加藤 紘
加藤 敦
齊藤 勝

関山 夫 (和歌山県)

関山 聡
大関 正太郎
北木 裕
福岡 隆
関口 雅巳
一之 心

十六、戸山流抜刀道（中村泰三郎）

中村朋子（神奈川県）

十七、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院寛禪房法印胤栄）

駒喜多学（京都府）

十八、兵法タイ捨流（丸目蔵人佐藤原長恵）

上原エリ子（熊本県）

十九、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聴）

宇佐美裕司（埼玉県）
宇佐美裕司
馬場真二郎

山本隆博
田中英樹
ゴムリア・ジェフリー

尾野好司
若林幹雄
高橋英樹
西本昌永
宮島勝

高野弘光
阿部英夫
水主勝人
佐藤亜里香

二十、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

濱地光男（愛知県）

富田光裕
上木川純
鈴木木田司

二十一、関口流拔刀術（関口八郎左衛門源實親）

祖父江光紀（茨城県）
徳井哲夫
坂下忠國

二十二、鞍馬流劍術（大野将監）

柴田章雄（東京都）
吉田稷一
松井康雄
渡辺良雄

二十三、天然理心流（近藤内蔵之助藤原長裕）

大塚正徳（茨城県）
栗原秀典
舟成宏昌
大木成典
松永典和

二十四、小野派一刀流劍術(伊藤一刀齋景久)

神夢想林崎流居合術(北條甚助林崎平重信)

二十五、和道流柔術拳法・空手術(大塚博紀)

二十六、氣樂流柔術(戸田越後守)

二十七、天真正伝香取神道流兵法(飯篠長威齊家直)

鈴木 ゆき子(東京都)

鈴木 真理香
鈴木 正典
五嵐 正典
後藤 正典
酒井 正典
宮内 正典

大塚博紀(東京都)

大塚博紀
寺田英視
坂巻良光
押田

水科壽美(群馬県)

水科壽美
水科成悟
齋藤 真規
宮下 直規
古田 昌人

飯篠貞(千葉県)

飯篠貞
近藤 智紀
吉田 昇平
杉本

二十八、淺山一傳流兵法（淺山一傳齋重晨）

二十九、荒木流軍用小具足（荒木夢仁齊源秀繩）

三十、森重流砲術（森重鞠負都由）

三十一、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

関 展 秀
（茨城県）

黒塚 関
澤田 佳展
慧 大壺 秀

千 葉 明
（神奈川県）

河 三 千
野 浦 葉
真 博 明
一

長 塚 正 晃
（東京都）

石 原 正 智 晃
林 由 佳 理
藤 沢 文 子
バクシーユ・アレクサンドル

矢 吹 裕 二
（東京都）

粕 井 誠
加 藤 岳 司
ストーネル・リチャード

三十二、柳生新陰流兵法（上泉伊勢守信綱）

柳 紀山岩折永 柳
ノ 生
生崎川本居井 耕
耕 真省一一 一
太 一
一剛郎吾男彰 一（愛知縣）

古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によって得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもって自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月二日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引き続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の二環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十一年発行の機関誌「真鏡」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鏡」別冊で同じく流儀解説を紹介、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>
メール kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp